



## 第四章

### 家計でも役立つ会計のセンス



さて、あなたは、決算書といえば、会社の経営者や経理部門、大企業の事業部や営業の事務部門、投資家など一部の人だけしか関係ないと思いませんか？

営業マンなどのサラリーマンで経理のことは関係ないと思っている人や主婦の方はいませんか？

あなたは、自営業者や個人事業主の方ではありませんか？

そこで、具体的な決算書の話に入る前に、家計や個人の場合はどうなのか？考えてみたいと思います。

ここでは、**家計や個人事業でも決算書を読む会計の知識が役立つ**ということをも身近な家計の話为例にとりて考えてみましょう。

## 家計簿とは？

ところで、あなたは「**家計簿**」を知っていますか？

家計簿をつけたことがありますか？  
じつは、私も家計簿をつけたことはありません。

おそらくあなたが主婦でもない限り、家計簿なんてつけないと思いますし、家計の財布は奥さんに握られている、という人も多いでしょう。

でも、「家計簿」という言葉ぐらいは聞いたことがありますよね。

ではここで、家計簿について考えてみます。

まず、「家計簿」とは何でしょうか？

これまた、読んで字のごとく家計の帳簿ですが、会社の会計帳簿の家計版（簡易版）と考えれば間違いないでしょう。

いったいどんなものかイメージがつかめないかもしれませんが、現金の収支（収入と支出）と残高を記入する小遣い帳が項目別に分かれている帳簿です。

## 家計簿とは、家計における収支と残高を項目ごとに数字で表した帳簿

といえるのではないのでしょうか。

現金や預金の出納帳のようなもので、収入と支出の内訳を種類ごとに記入、集計するための帳簿です。

例えば、サラリーマン世帯の場合、家計の収入と支出は以下のようなものではないのでしょうか？

収入： 給料、臨時のボーナス(税引き後の手取り)

支出： 生活費、ローン返済、金利

ここで、ちょっと考えてみましょう。

もし、収入の方が支出よりも多い場合、収入 支出  $> 0$  ですから現金または預金の残高が増えていきます。

当たり前ですが、収入の範囲内で生活していれば、お金が貯まっています。

では、逆に収入よりも支出の方が多い場合はどうなるのでしょうか？

収入 支出  $< 0$  ですから現金、預金残高が減っていきます。

もし、このような「赤字になったとしたら、あなたはどうしますか？」

ちょっと考えてみてください。

いかがですか？

例えば月々集計してみて、一時的にマイナス(赤字)の場合は、貯金が残っていれば貯金を取り崩すこともできます。

でも、このような赤字が続いて貯金残高も少なくなってきた場合、あなたならどうしますか？